

初の

ホームステイ 9日間!

中学3年

南 千春

きっかけ

私が今回の交流事業に参加したのは、日本以外の国々の生活習慣が気になっていたのとホームステイが海外ドラマで聞いたロシア語に興味を持っていたからです。他には外国に仲の良い友人が欲しいと小学生のころから思っていたからです。

自由行動

私は9日間のホームステイで様々なところに訪れましたが、その中でも特に気に入ったところと驚いたところを紹介します。

1つ目は2日目に5家族合同で行った、ガリレオ・パークです。バルーンアートやサンドアートを自分自身で作れたり、鏡の迷路、上下逆さの部屋、空気砲などといった楽しいアトラクションが沢山ありました。鏡の迷路はとても広く複雑で脱出までに時間がかかりました。逆さの部屋は、ただ逆なだけでなく少し傾いているため歩くのが大変でしたがとても楽しむことができました。

2つ目は7日目の午後に行った粉もかけ合う祭り (Color fest) です。初対面の人にもいきなりかけたりと私的には少し勇気が必要でした。外国ならではの "hug me!!" と書かれた看板を持っている人が沢山いたり日本とは違う雰囲気のある祭りでとても楽しむことができました。

3つ目は、8日目に行った、スタートリンクです。体育館のようなところ



ろにあるものだと思っていたのですが、いざ行ってみるとデパートのフードコートのと真ん中にありました。そのため寒くもなくTシャツの上にパーカー一枚、そして下は七分丈で楽しむことができました。

日本とロシアの違い

ロシアにも寿司というものはありました。日本のとは違い全てカルフォルニアロールのようなものでした。中は普通の具の他に大部分を占めていたのはなんとサワークリームです。

ロシアの寿司、中の白い部分は全てサワークリームです。



色々な種類の寿司がありました。ごまだらけだったりピンク色の甘いクリームが上についていたり日本のもとは別ものになっていました。

生活面では、私のホストファミリーは歯みがきをしていませんでした。歯ブラシはあるものの9日間のステイでは一度もみがいているのを見ませんでした。他にはロシアは22時半近くまでは日本の18時とほぼ変わりがないほど明るいので昼食は14~16時、夜食は20時以降という感じになっていました。全体的に時間がずれているので寝るのは23時以降で起きる時間は10時くらいという生活になっていました。

まとめ

今回のホームステイを通して英語単が分からないときは英語がうまく通じないときもGoogle翻訳を使うなどし自力で解決することができました。ロシア語も熱心なホストブラザーの協力もあってがいさつをかわすことくらいはできるようになりました。最初の方はGoogle翻訳は頼りきりだったものの数日過すうちにホストマザーともファザーともジュスカーヤ自分の知っているロシア語でコミュニケーションが取れるようになりました。

ノボシビルスクはきれいな建物の多い素晴らしい都市だったので訪れることができても良かったと思いました。これからはこの9日間で学んだコミュニケーション術などを日常生活に生かして高校に向けて頑張りたいと思います。